

教育実践開発コース

竹谷 涼

教職大学院では、講義や教育実習などを通して、実際の教育現場を想定しながら学生同士で学び合える環境が整っています。

日々の講義では、自分の専門教科の学習に加えて、生徒指導に関する具体的な取り組みや学校経営の仕組みなど、学部生の頃には深く理解できなかった部分を学ぶことができます。講義は演習形式で行われるものが多く、ミドルリーダー養成コースの方々の意見も取り入れながら考えることができるので、目の前の教育課題に対する解決策をより具体的に考える上で助けになっています。

教育実習では、異校種で行われている教育活動を観察して自分自身の視野を広げることや、実際の教育活動に関わることで自らの課題を明確にすることができます。特に、連携協力校でのフィールド実習では生徒と関わりながら研究課題を設定していき、それを踏まえた実践を実習校で行わせていただきました。

研究と実習が重なり正直大変な面もありますが、それ以上に貴重な体験をすることができます。教員を目指す者として大切なことを学べる場であると思います。胸を張って教壇に立てよう残りの1年も頑張ります。